3学年通信

能美市立根上中学校
令和４年（２０２２年）
11月８日（火）　No.21

「文化祭を振り返って①」

学年や学校全体の一体感や感動を味わうことができた文化祭でしたね、実感できた「みんなで協力することの大切さ」を日々の生活に生かしていきたいですね。

文化祭すべてがとても楽しかったです。特に思い出として残っているのは合唱コンクールです。最優秀賞はとれなくて、少しくやしい気持ちもあるけど、優秀賞をとることができてとても嬉しかったです。私たちは最初ぜんぜそろっていなくて、声もバラバラで「もう無理なんじゃないか。」と思うこともあったけれど、先生が言ってくれた「前よりよくなった！」という言葉を聞いて、私は「もっとよくなって最優秀賞をとりたい!」という思いがどんどん強くなって、最後にみんながまとまって歌うことができました。練習を頑張ってきたので、最優秀賞をとれなかった！というくやしい気持ちよりも、前よりずいぶんよくなった、上手なクラスと並ぶほど上達したという喜びの方が今は勝っています。中学校最後だったのでみんなでタントで歌うことができてとても嬉しかったです。

そして、一芸披露では、ピアノ、ドラム、バレエなどがとてもよかったです。特に、３年生のピアノがとても上手でした。みんなの一芸が鑑賞できてよかったです。

最後に、先生にサプライズできて、とても驚いて、喜んで、感動してもらえたことも嬉しかったです。５クラスで、大きな声で歌うことができて、本当に、よい文化祭になったと思います。３年生で最後の文化祭をつくることができて、楽しい思い出になりました。　（４組　女子）

文化祭のメインは合唱コンクールだと、誰もが思っていただろう。４組は優秀賞を獲ることができた。だが、この結果に満足している人は少なかった。これは、４組のみんながどれだけ合唱コンクールに本気だったかの表れだと思う。

合唱曲「YELL」は、まさかの第三希望以下だった。その時点でみんなのやる気はかなりそがれていたと思う。さらに、４組はとても練習時間が少なかった。初めのほうは、曲の難しさに戦慄し、「大丈夫かなー」と思っていた。おそらく、みんなもそう感じていただろう。だけど、練習をかさねていくにつれ、難しいからこそ、どんどんそろっていく、どんどん響いていく感覚を強く感じ、モチベーションにつながっていった。前日には。誰かが歌えば、他の人は自然にそろえて歌うようになり、クラスの一体感や、やる気が感じられた。歌が好きな私は、みんなのその様子がなによりも嬉しかった。

本番では、ホール特有の響き方を楽しみながら、のびのびと歌えた。緊張せず、周りの声も聴いて響かせることを意識した。達成感でいっぱいだった。

最優秀賞は獲れなかったけど、校長先生が仰っていたように「過程」が大切だと改めて感じた。この「過程」でクラスがまとまり、団結が強まったことが。なによりの成果だと思う。この一体感をこれからも保っていきたい。
（４組　女子）

今年の合唱コンクールは幸いにもタントで行うことができました。慣れない場所で歌うのはとても緊張したし、練習の時より思うような歌声を出すことが出来ないでいました。この合唱コンクールを行うまでの過程で沢山の人から力をもらい、助けていただきました。時には上手くいかないこと、苦しいと感じる場面も多くありました。ですが、そのたびに周りの人と協力したり声を掛け合ったり先生方にアドバイスをもらったりと、私の背中を押してくれる人が沢山居て本番を迎えることができました。私はパートリーダーではありませんでしたが、今の自分にできることがはないか、と頭を悩ますこともありました。本番で奏でた私たち３－２の歌声はとても良いものだ、とは言えなかったと思いますが、それまで以上に私たち自身が楽しみ、今まで以上の力を発揮し、全力を出せたと思っています、”後悔はない”と言うとうそになりますが、人生の中で良い思い出になったのではないかと思います。そして同様に、一芸披露、モニュメント、学校クイズなどで文化祭の準備を長い期間力を入れてきました。放課後遅い時間まで残り、色々試行錯誤して作り上げ、当日はあっという間にすぎ、さみしいと感じています。

今振り返ると、決して「楽」というものではありませんでしたが、先生方や生徒会のみんなで考え、案を出し合った努力を文化祭という形で思い出に残せたことはとても嬉しいです。文化祭を通して、この努力の過程を忘れずに、これからの受験などにも生かしていきたいです。（２組女子）

今回の文化祭で一番印象に残ってるのは合唱コンクールです。最初は男子と女子でなかなか合わず、大変でしたが、本番に近づいていくごとにみんな協力しながら、パートリーダーを中心に練習をして、本番では今までで一番良い合唱になったんじゃないかなと思いました。でも、最初からもっとみんな真剣にしていればもっと良い合唱になったんじゃないかなとも思い、本当に仲間と協力するってこんなに大切なんだと改めて感じることができました。そして、もう例年通りののようにタントでは歌えない、例年のような文化祭ができないまま中学校生活が終わるのは悔しく、すごく悲しいと思っていたので、最後の合唱コンクールにみんなでタントの舞台に立って歌えたことが嬉しかったです。そして、生徒のみんなに楽しんでもらおうと色々考えてくださった生徒会のみなさんや、先生方には本当に感謝しかありません。クラス対抗学校クイズではみんなで話し合いながら楽しく参加することができました。今の時期にだからこそできるような企画を立ててくださったおかげで、この時期ならではの思い出ができて本当によかったです。感謝しています。

文化祭を通して、仲間と協力することの大切さを学ぶことができ、思い出もつくることができたので本当に嬉しいです。文化祭で学んだことを忘れずに、受験も頑張ろうと思います。(2組女子)

文化祭を振り返って、合唱の取り組み始めのころ、私は歌詞間違えてしまったり、友達と話して歌を歌っていない時があったけど、だんだん合唱コンクールが近づいてきて「これじゃだめだ」と危機感を持ちました。そこから真面目に日々歌を歌ってきました。いざリハーサルのステージに上がると緊張で足が震え、思うような声が出ませんでした。緊張と不安の中で当日本番がやってきました。円陣を組んだらクラスの一体感をすごく感じました。それで緊張感がほぐれたし、「やってやろう」という気持ちになりました。長谷川先生に「サビをもっと出す」とアドバイスをいただいた部分を、特に意識して歌いました。クラスの一体感や雰囲気、ご指導くださった林先生や長谷川先生などの支えがあったからここまでできたんだなあと思いました。結果は最優秀賞でとても嬉しかったし、改めて感謝したいと思いました。一芸披露やクイズなどみんなで盛り上がりながらできたので本当に面白い一日になりました。生徒会のみなさんにも感謝です。文化祭が無事に楽しく終われてよかったです。（３組男子）